

令和4年度
学校関係者評価委員会議事録

1. 開催日時 令和4年6月11日(土) 午後2時50分～

2. 開催場所 中央医療技術専門学校 1号館4階 2年AB組合同教室
東京都葛飾区立石3丁目5番12号

3. 学校関係者評価委員定数 6名

4. 出席者 学校関係者評価委員

委員長 神田 吉也

副委員長 伊丹 重貴

委員 柳田 智 平野 雄二

菅 勝幸 福田 昌弘

内部評価委員会

委員長 横田 浩(学校長)

委員 小川 雅之(教務部長) 中島 正弘(教務課長)

河合 繁(学生課長)

池田 信昭(学校総務課長:事務長)

岸 千春(法人事務局次長:財務担当)

法人事務局 森重 美三男(理事長) 加藤 広宣(法人事務局長)

5. 議 案

1. 令和3年度学校自己評価報告について

2. その他

6. 議事録署名人 柳田 智 菅 勝幸

7. 配布資料

1. 令和3年度 学校自己評価報告書

2. 応募数と入学者推移

3. 入学から卒業・国家試験合格の推移

4. 国家試験合格率

5. 自己評価ポイント比較率

6. 事業活動収支計算書

7. 学校関係者評価委員会委員名簿

8. 学校自己評価委員名簿

9. 第27期事業報告書

10. 学校法人中央医療学園役員名簿①②

冒頭に議事に入る前に、森重理事長から挨拶があった。

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。コロナ感染者も大分減少してきましたが、学校としては引き続き感染予防に注意を払ってまいります。

今日は、令和3年度学校自己評価の結果が出ましたので、皆様にお集まりいただき評価をいただきたいと存じます。よろしくお願い致します。

との挨拶があった後、学校関係者評価委員のうち近藤昭夫委員（学生保護者）が令和4年3月で退任され後任に福田昌弘氏（学生保護者）が就任したとの報告があり、同人が紹介された。

その後、委員会成立事項報告を求めた。

学校関係者評価委員会成立事項報告（議事司会者の加藤広宣事務局長）

本日の委員会は、委員6名が全員出席しており、学校関係者評価委員会規程第7条1項に定める出席委員数を満たしており学校関係者評価委員会が成立することを報告する。規程第8条により、委員以外の者に出席を求め意見を聞くということで、本日は学校内部評価委員6名が同席をする。また、規程第10条には、委員会の事務は、本校の教務部において処理するとあるが、本日は、法人事務局で議事録を作成するのでご了承を願う。なお、議事録作成上、本日委員会の録音を行う。

との報告があった後、神田委員長に議事の進行を依頼した。

議事に入る前に、森重理事長から1年間の報告があった。

【理事長報告要旨】

昨年度も、コロナ禍の対応で大変な1年であった。年度始めから緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が続き今年の3月でやっと解除になった。

緊急事態宣言の中で、感染対策に重きを置き思うように学校の活動ができなかった。教職員が一丸となって予防措置を行ってくれたおかげで、学生及び教員に数名の家庭内感染者が出たものの、1年間クラスターの発生には至っていない。引き続きコロナ対策に注意をしていきたい。

1、中央医療学園専門学校（荒川校）の事業譲渡について

荒川区で中央医療学園専門学校（柔道整復学科、鍼灸学科）を運営していたが、令和3年3月23日に最後の卒業式が行われ卒業生全員を送り出し31日をもって閉校した。翌4月1日には学校廃止認可申請を荒川区に提出し、その後8月12日に学校廃止認可がおり正式に廃校となった。

廃校届の提出と同時に、本学園の寄附行為の変更を行い、廃止認可と同じく8月12日に承認された。新寄附行為のもとでは理事が9名から7名に減員となったため役員改選を行った。

12月6日、荒川校の土地・建物を事業譲渡先である学校法人平成医療学園に所有移転登記した。その後も当学園が荒川校の土地・建物の管理を代行していたが令和4年3月31日をもってすべて学校法人平成医療学園に移譲し文字通り事業譲渡が完了した。

2、中央医療技術専門学校（立石校）の大学構想について

コロナの影響で不動産会社も営業活動がなかなか出来ない状況であったためか、前回の報告から進展がない。現在も大学設置に必要な土地を当学園周辺で確保すべく交渉中である。

神田委員長は、議事録署名人に、柳田智氏と菅勝幸氏を指名し、両名が承諾し議事に入った。

令和3年度学校自己評価報告書と添付資料(応募数と入学者推移、入学から卒業・国家試験合格の推移、国家試験合格率、自己評価ポイント比較表、事業活動収支計算書)の説明を内部評価委員会に求めた。

横田内部評価委員長(学校長)より、令和3年度学校自己評価報告書の説明に続いて添付資料、応募数と入学者推移、入学から卒業・国家試験合格の推移、国家試験合格率についても説明があった。岸財務次長より、事業活動収支計算書の資料について説明があった。

【質疑応答】

学校関係者評価委員はそれぞれ違った分野の方に委員をお願いしております。只今の令和3年度学校自己評価報告について、学校関係者評価委員にご意見、ご質問を受けたいと思います。(神田)

(意見) 学生保護者の福田です。子供が2年生におります。だいぶコロナの方も落ち着き授業も対面が多くなり、問題なく行われていると思います。進級試験、国家試験に対するモチベーションを高めてほしいと思っています。(福田)

(質) 学修成果のところ、専門のカウンセラーを置いてメンタルケアを行ったとあるが実際にどのように行ったのか。(神田)

(答) 臨床心理士の先生が月4回(1回2時間)来校しカウンセリングを行っている。来校日は毎月ドロップボックス内に案内しているので学生が直接先生に申し込みが出来、自由にカウンセリングが受けられるようになっている。毎月2~3名の学生がカウンセリングを受けており、先生から毎月カウンセリング状況の報告書をいただいている。(岸)

(質) 留年の学生に対してどのようなサポートを行っているのか。(平野)

(答) 留年生は、昨年臨床実習を受けているので今年は臨床実習の必要はない。この臨床実習の期間に、課題を与えその課題の解説を教員立ち合いのもとで、学生が行う学生参加型の授業で指導を行っている。(小川)

(質) 留年生に対して、国家試験対策は具体的にどのような取り組みを行っているのか。

(神田)

(答) 最上級学年の留年生に手を掛けないと、合格率が上がらない。今年は4月から毎週水曜日に、模擬試験を行っている。その結果を基に教員が、留年生1名ないしは2名を受け持ち面談指導を行っている。(小川)

(意見) 何らかの事情で留年しても学校の先生が指導して見守ってくれていることを学生が感じることが出来れば、自分を見つめなおすことができると思う。(神田)

(質) 3つ質問がある。

①今年の入試合格者数に対して入学者数がどのくらいか。

②専門学校だから単位制ではなく学年制なので、たとえば1年生から2年生に上がる時のケアはどのように行っているのか。

③学生の連絡はメールで行っていると聞いているがどのように行っているのか。

(柳田)

(答) ①の返答

今年の新入学生の状況は、3月中旬頃から予想より多くの入学辞退者が出て例年より入学者が少なくなっている。3月中旬から下旬にかけて大学の合格発表があり当校合

格者でも他大学合格となれば大学へ入学したと推測される。

②の返答

新入生を含む1年生には、入学前教育の分析結果も取り入れ前期のうちに担任による面談を行っている。また、後期の早い時期に前期末試験の結果を基に担任が面談を行っている。(小川)

③の返答

学生の連絡方法として、入学時に個人のメールアドレスを登録してもらい、一斉メールを送る仕組みを導入している。Lineは、学校の公式な連絡方法として使用していない。(池田)

- (質) 入学から卒業・国家試験合格の推移の資料を見た。国家試験合格率・進級率・退学率の数値は、他校も同じなのか。(伊丹)
- (答) 他校の数値は把握できていない。(小川)
- (意見) 私も自分の勤める大学で授業を受け持っているが、2年生から3年生だと2割から3割が留年している。(柳田)
- (意見) 入学者を増やす為には、ホームページの活用や、今若者に人気のYouTubeを活用すべきと思う。学校の新ホームページを見た感想を言うと内容はシンプルで良いのだが、他校と比較し利用者に広がりが見られない。今後どのように広げていくかが大事だと思う。何らかの工夫をお願いしたい。(菅)
- (質) 事業活動収支計算書で赤字となっているが説明をお願いしたい。(神田)
- (答) 令和3年度の決算は事業譲渡での土地、建物の経理処理で資金を伴わない収益と損失が計上されている。資金は増加しており学校運営は問題ない。この経理処理は税理士指導の下行っている。(添付資料で説明)(岸)
- (意見) 健全な運営をしているということで、ありがとうございました。(神田)

以上の質疑応答の後、神田委員長の要請で、学校関係者は退室し、学校関係者評価委員で総評に入った。纏まった総評を、神田委員長より学校側に述べた。

【神田委員長総評】

本日、内部評価委員会から報告を受けました。令和3年度もコロナ禍でいろいろな制約がある中、教職員の努力によって概ね良い運営がされていると判断します。

ただ、今年も気になるのが国家試験の合格率です。令和3年度为国家試験合格率は前年度より上がっていますが、入学から卒業・国家試験合格の推移を示した資料を見ますと、直近の卒業生は昼間部においては入学者の40パーセント、夜間部ではわずか12パーセントしか国家試験に合格していない状況を厳しく指摘致します。

また、各項目の自己評価スコアに変化がないように思えます。毎年運営状況が変わると思いますので評価にも変化があるべきだと思います。

新しくなったホームページは良くなったと評価致します。今後、InstagramやYouTubeを使って、学校の表現が出来ればさらに良くなると思います。

以上、神田委員長から、今後も学校発展の為に努力して頂きいたとの総評があった。

委員長は、他に質疑の有無を諮ったが特になく、本日の学校関係者評価委員会を終了した旨を述べ午後4時35分に閉会した。

以上

本議事録記載事項について、正確であることを証するため委員長及び議事録署名人各署名押印する。

令和4年6月11日

委員長 氏名

議事録署名人 氏名

議事録署名人 氏名

以上